

おくすり手帳 ご存じですか？

“おくすり手帳”のことはご存じですか？

処方してもらった薬の内容を“おくすり手帳”に記録することで、どんな薬を飲んでいるかわかります。いくつもの病院にかかって、結局同じ薬を飲んでいたり、お薬の名前は違うけど、同じ成分の薬だったということがあります。こういう場合、この“おくすり手帳”に服用中の薬を記録しておくことで、どんな薬を飲んでいるかわかり、二重にお薬を処方してしまうことが避けられます。また、お薬には飲み合わせの悪いものがあります。他の病院でどんな薬を飲んでいるかわからなければ、飲み合わせの悪い薬であることのチェックがもれてしまいます。“おくすり手帳”を見せることで、このようなことを防ぐことができます。



病院にかかった時、お薬を使って副作用がでたことがあるか聞かれたことはありませんか？

副作用が出てひどい状態になったことは記憶されているのですが、「その薬の名前はわかりますか？」とお聞きすると、「???’と首をかしげてしまう方もおられます。確かに、副作用の薬の名前を聞いたとしても忘れてしまいますよね。そういう時にこの“おくすり手帳”に、どのお薬で、どのような症状がでて、どのように治療をしたかを記録してもらえば、副作用のことを聞かれても大丈夫ですよ。また同じ薬を飲んでつらい思いをしなくて安心！！



当院では、75歳以上の方を対象に、“おくすり手帳”とお薬の名前を印字したシールをお渡しすることになりました。

三日坊主の日記のようにならないよう、“おくすり手帳”を十分に活用していきましょう。

